

ふるさと吉富町

私たちが暮らす「吉富町」には、現在に至るまでの数々の歴史があります。

そして、そこには現在の快適な生活のベースがあります。

そんなふるさと吉富町について、いろいろな視点からご紹介していきます。



町の花「さつき」



町制施行40周年記念パレードの様子



町の木「もくせい」

第13回 町の花・町の木

春を代表する花「さつき」

春真っ盛りの5月。万緑の中に明るく花開く季節がやってきました。とりわけ今月見頃を迎える花のひとつに「さつき」があります。町内の公園や家々などで咲き誇る姿は、その華麗さ、優雅さゆえに昔から多くの人々に愛されてきました。特に、小学校向かいの天仲寺公園には、園路沿いや公園内に多くのさつきが植えられています。桜が散った後の新緑の中に咲くさつきを楽しみに来園される方も多いのではないでしょうか。

町制施行40周年を記念して

さつきは、町制40周年を記念して、一般公募により昭和57年5月に「町の花」として選定されました。このとき、同時に「町章」「町民憲章」が制定されたほか、「町の木」として「もくせい」が選定されています。たゆみなく生長・伸展を続ける常緑の木もくせいは、一步一步前進し発展する町の姿と重なります。秋口には金色に輝く清楚な花を咲かせ、気品に満ちた香りで人々に安堵感と癒しを与えています。

町制施行40周年を迎えた昭和57年は、記念式典のほか、協賛記念行事として総合文化展、吉富小学校鼓笛隊パレードなどが行われ、町内は祝賀ムードに包まれました。さらに、八幡古表神社の「細男舞・神相撲」が国の重要無形民俗文化財に指定された年でもありました。



町制施行40周年記念式典の様子

町の発展とともに

時代の趨勢に応じてたゆまぬ変化・進化を続ける本町は、平成29年5月19日に満75歳を迎えます。町のシンボルとして住民に愛されてきたさつきやもくせいは、これからも変わらぬ姿で私たちに癒しと安らぎを与えてくれることでしょう。